

令和5年度 社会福祉法人真徳会決算報告書

資金収支計算書

(自) 令和05年04月01日 (至) 令和06年03月31日

事業活動計算書

(自) 令和05年04月01日 (至) 令和06年03月31日

		勘定科目		決算額			勘定科目		決算額	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入		12,491,650	サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益		12,491,650	
		専門学校事業収入		31,458,864			専門学校事業収益		31,458,864	
		就労支援事業収入		16,883,227			就労支援事業収益		16,883,227	
		障害福祉サービス等事業収入		71,349,020			障害福祉サービス等事業収益		71,349,020	
		経常経費寄附金収入		15,000			経常経費寄附金収益		15,000	
		その他の収入		1,221,806			サービス活動収益計		132,197,761	
		受取利息配当金収入		179			人件費		66,892,406	
	事業活動収入計		133,419,746	事業費		15,400,976				
	支出	人件費支出		66,892,406	事務費		18,725,532			
		事業費支出		15,400,976	就労支援事業費用		16,869,292			
		事務費支出		18,725,532	減価償却費		4,651,788			
		就労支援事業支出		16,869,292	国庫補助金等特別積立金取崩額		-495,945			
		支払利息支出		303,150	サービス活動費用計		122,044,049			
		事業活動支出計		118,191,356	サービス活動増減差額		10,153,712			
事業活動資金収支差額			15,228,390	サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益		179		
施設整備等による収支	収入			その他のサービス活動外収益			693,750			
		施設整備等収入計		0		雑収益		528,056		
支出				サービス活動外収益計			1,221,985			
	固定資産取得支出		745,800	費用		支払利息		303,150		
施設整備等支出計		745,800	サービス活動外費用計		303,150	サービス活動外増減差額		918,835		
施設整備等資金収支差額		-745,800	経常増減差額		11,072,547	特別増減の部	収益	特別収益計		0
その他の活動による収支	収入			費用		固定資産売却損・処分損			1	
		その他の活動収入計		0	特別費用計			1		
支出				特別増減差額		-1				
	役員等長期借入金元金償還支出		2,844,000	当期活動増減差額		11,072,546	繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額		-12,524,709
長期運営資金借入金元金償還支出		8,095,000	当期末繰越増減差額		-1,452,163	工賃変動積立金積立額			0	
その他の活動支出計		10,939,000	次期繰越活動増減差額		-1,452,163					
その他の活動資金収支差額		-10,939,000	当期資金収支差額合計		3,543,590					
前期末支払資金残高		20,957,677	前期末支払資金残高		20,957,677					
当期末支払資金残高		24,501,267	当期末支払資金残高		24,501,267					

貸借対照表

令和06年03月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	33,462,449	流動負債	16,123,182
固定資産	67,574,644	固定負債	16,188,000
		負債の部合計	32,311,182
		純資産の部	
		基本金	67,638,000
		国庫補助金等特別積立金	1,880,074
		工賃変動積立金	660,000
		次期繰越活動増減差額	-1,452,163
		純資産の部合計	68,725,911
資産の部合計	101,037,093	負債及び純資産の部合計	101,037,093

財 産 目 録  
令和06年03月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
<b>I 資産の部</b>						
<b>1 流動資産</b>						
現金預金						
預金		—		—	—	17,285,653
通知預金	常陽銀行／白河支店	—		—	—	1,001,357
普通預金1292522	常陽銀行／白河支店	—		—	—	2,250,830
普通預金1342692	常陽銀行／白河支店	—		—	—	2,065,715
普通預金1344961	常陽銀行／白河支店	—		—	—	1,187,274
普通預金1300538	常陽銀行／白河支店	—		—	—	1,091,286
普通預金1311011	常陽銀行／白河支店	—		—	—	2,310,686
普通預金1374512	常陽銀行／白河支店	—		—	—	4,669,123
ゆうちょ銀行		—		—	—	2,637,620
夢みなみ農業協同組合		—		—	—	71,762
現金		—		—	—	467,379
現金		—		—	—	80,960
小口現金		—		—	—	386,419
			小計			17,753,032
事業未収金		—	2、3月請求分	—	—	11,132,630
福島県国民保険団体連合会		—	3月請求分	—	—	911,470
利用者負担額		—	2、3月弁当売上他	—	—	2,821,505
その他			小計			14,865,605
未収補助金		—		—	—	732,100
前払金	遠藤商事株式会社	—	駐車場4月他	—	—	111,712
			社他			
	流動資産合計					33,462,449
<b>2 固定資産</b>						
<b>(1) 基本財産</b>						
土地	福島県白河市関	—	共同生活援助福祉ホームひもろぎの園	—	—	14,410,000
建物	辺引目橋34番地6	平成17年度	共同生活援助福祉ホームひもろぎの園	43,228,000	20,979,989	22,248,011
	福島県白河市関					
	辺引目橋34番地6					
	基本財産合計					36,658,011
<b>(2) その他の固定資産</b>						
建物	福島県白河市関	平成24年度	就労継続B食工房ひもろぎ	12,382,650	3,863,381	8,519,269
	辺引目橋51番地2					
	福島県白河市本	平成29年度	しらかわ介護福祉専門学校	18,252,000	5,877,144	12,374,856
	町2番地(マイタウン)					
建物附属設備	福島県白河市関	—	共同生活援助福祉ホームひもろぎの園	10,499,264	5,736,581	4,762,683
	辺引目橋34番地6					
	福島県白河市関		就労継続B食工房ひもろぎ			
	辺引目橋51番地2					
構築物	福島県白河市本	—	しらかわ介護福祉専門学校	11,088,800	9,513,211	1,575,589
	町2番地(マイタウン)		法人本部(福祉ホームひもろぎの園)			
	福島県白河市関					
	辺引目橋34番地6					
車輛運搬具	福島県白河市関	—	ダイハツミラ	2,760,000	2,759,997	3
	辺引目橋51番地2		トヨタステーションワゴン			
	福島県白河市関		トヨタポルテ			
	辺引目橋34番地6		法人本部(福祉ホームひもろぎの園)	45,977,660	42,953,427	3,024,233
器具及び備品	福島県白河市関	—	共同生活援助福祉ホームひもろぎの園			
	辺引目橋34番地6					
	福島県白河市関		就労継続B食工房ひもろぎ			
	辺引目橋34番地6					
	福島県白河市関					
	辺引目橋51番地2					
	福島県白河市本		しらかわ介護福祉専門学校			
	町2番地(マイタウン)					
工賃変動積立資産		—		—	—	660,000
	その他の固定資産合計					30,916,633
	固定資産合計					67,574,644
	資産合計					101,037,093
<b>II 負債の部</b>						
<b>1 流動負債</b>						
事業未払金		—		—	—	1,013,088
就労継続利用者工賃		—		—	—	3,087,822
その他		—		—	—	1,338,236
社会保険料		—		—	—	1,338,236
			小計			5,439,146
1年以内返済予定長期運営資金借入金		—		—	—	5,421,000
1年以内返済予定役員等長期借入金		—		—	—	1,741,000

法人全体

## 財 産 目 録

令和06年03月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
			小計			7,162,000
預り金						
高山労務管理士		—		—	—	1,021
非常勤講師		—		—	—	6,636
その他		—		—	—	80,960
岩波公認会計士		—		—	—	2,042
			小計			90,659
職員預り金						
源泉所得税		—		—	—	176,170
社会保険料		—		—	—	1,306,007
住民税		—		—	—	129,200
			小計			1,611,377
前受金		—		—	—	1,820,000
流動負債合計						16,123,182
<b>2 固定負債</b>						
長期運営資金借入金		—		—	—	9,968,000
役員等長期借入金		—		—	—	6,220,000
固定負債合計						16,188,000
負債合計						32,311,182
差引純資産						68,725,911

## (記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載する。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄に記載する。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

# 監査報告書

令和 6 年 5 月 17 日

社会福祉法人 真徳会

理事長 渡部真樹 殿

監事 有賀香晴  
監事 青砥正

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法に基づき、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）並びに財産目録について検討しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

令和6年3月31日

## 令和5年度の主な事業報告

社会福祉法人真徳会

### 社会福祉事業

#### ・共同生活援助 福祉ホームひもろぎの園

平成24年4月共同生活援助として移行し、5年度も同様に利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において、食事指導、生活相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行い、支援してきました。5年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から通年行ってきた施設行事や外出支援について自粛しながら可能な限り利用者が安心して生活を送れることを考え実施してきました。入居者に感染者が発生しましたが、拡大防止策を講じ拡大は免れました。今後も感染状況に注視し事業運営にあたります。

#### ・就労継続支援B型 食工房ひもろぎ

平成24年4月に、定員20名で開所。現在は定員30名。お弁当作り・内職作業・手工芸品の作成などを行っています。内職作業は昨年同様コロナ禍で企業からの仕事が減少しました。工賃時給が維持向上できるよう試行錯誤しながら実施してきました。手工芸の製作では、アクセサリーやシュシュや、雑巾などを作っています。受注作業は減少しましたが作業を通して、働く楽しさを知り、安定した生活を営むことができるように、また安定した就労が継続して行えるように支援してきました。新型コロナウイルス感染症の影響は今年度も作業の受注において影響があり内職作業は減少しておりました。弁当部においては新規開拓し広げる事ができました。

### 公益事業

#### ・居宅介護支援事業所ひもろぎ

平成19年6月に開所。現在40件以上の支援件数を実施、その他認定調査やケアプラン作成、在宅生活の実現や維持するために本人、家族の意向を踏まえ関係機関の調整を行い、生活の質を高める支援を実施しています。今年度もコロナ過での対人援助となりオンラインでの研修や訪問調査など様々な手法を取り入れ柔軟に対処し在宅生活を維持できるよう支援してきました。担当利用において感染者は出ましたが幸い症状は軽度で影響は最小限で済みました。今後も注視し支援して行きます。

#### ・しらかわ介護福祉専門学校

平成29年4月に開校。令和5年度は1学年16名、2学年8名の計24名で推移しております。2年生の就職率、国家試験の合格率共に100%となっております。社会福祉士及び介護福祉士法の定めるところにより、幅広い教養と専門知識・技能・態度を要する介護福祉士を教育するとともに豊かな人格を育て、社会福祉事業に献身することのできる人材を養成することを目的とし活動してきました。コロナの影響もありましたが、介護実習や地域との交流を持つ事で実践力のある人材育成に尽力してきました。

### 収益事業

< キャリアパス要件Ⅰ・Ⅱ >

キャリアパス要件Ⅰ(任用要件・賃金体系の整備等)

<input checked="" type="checkbox"/>	次のイからハまでのすべての基準を満たす。	← <input checked="" type="radio"/>
イ	福祉・介護職員の任用における職位、職責又は職務内容等の要件を定めている。	
ロ	イに掲げる職位、職責又は職務内容等に応じた賃金体系を定めている。	
ハ	イ、ロについて、就業規則等の明確な根拠規定を書面で整備し、全ての福祉・介護職員に周知している。	

キャリアパス要件Ⅱ(研修の実施等)

<input checked="" type="checkbox"/>	次のイとロの両方の基準を満たす。	← <input checked="" type="radio"/>
イ	福祉・介護職員の職務内容等を踏まえ、福祉・介護職員と意見交換しながら、資質向上の目標及び①・②のうち少なくともいずれかに関する具体的な計画を策定し、研修の実施又は研修の機会を確保している。	
	<input type="checkbox"/> ①	資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、福祉・介護職員の能力評価を行う。 ※当該取組の内容について以下に記載すること
	<input checked="" type="checkbox"/> ②	資格取得のための支援の実施 ※当該取組の内容について以下に記載すること 資質向上や資格取得に向けた研修等の受講支援や勤務シフトの調整等を行う。
ロ	イについて、全ての福祉・介護職員に周知している。	

< キャリアパス要件Ⅲ >

キャリアパス要件Ⅲ(昇給の仕組みの整備等)

<input checked="" type="checkbox"/> 次のイとロの両方の基準を満たす。		<input type="radio"/>	
イ	福祉・介護職員について、経験若しくは資格等に応じて昇給する仕組み又は一定の基準に基づき定期的に昇給を判定する仕組みを設けている。		
	具体的な仕組みの内容(該当するもの全てにチェック(✓)すること。)	<input checked="" type="checkbox"/>	① 経験に応じて昇給する仕組み ※「勤続年数」や「経験年数」などに応じて昇給する仕組みを指す。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 資格等に応じて昇給する仕組み ※「介護福祉士」や「実務者研修修了者」などの取得に応じて昇給する仕組みを指す。ただし、介護福祉士資格を有して就業する者についても昇給が図られる仕組みであることを要する。
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 一定の基準に基づき定期的に昇給を判定する仕組み ※「実技試験」や「人事評価」などの結果に基づき昇給する仕組みを指す。ただし、客観的な評価基準や昇給条件が明文化されていることを要する。
ロ	イについて、全ての福祉・介護職員に周知している。		

< 職場環境等要件 >

入職促進に向けた取り組み



腰痛を含む心身の健康管理



健康管理対策の実施

やりがい・働きがいの醸成



踏まえた勤務環境や支援内容の改善